

2015年1月5日

2015年 年頭の辞

本メッセージは、社長 柄澤 康喜から当社の全社員に向けて発信するものです。

全国の皆さん、そして海外の皆さん、明けましておめでとうございます。

1. 2014年を振り返って

昨年を振り返りますと、国内経済は景気回復に減速感が見られる場面もありましたが、日銀の追加金融緩和や政府の消費増税の延期など、デフレ脱却に向けた強い意思が示されたことで、緩やかな回復基調を維持しました。また、世界経済も米国経済の回復等を背景に全般的には底堅く推移しました。

こうした中、MS&ADインシュアランス グループの上期決算は過去最高益を記録し、通期業績予想を上方修正しました。皆さんの総力を結集した取組みは着実に成果へと結びついています。景気の先行きには不透明感もありますが、官民一体となった取組みで成長戦略を実現していくことで、本格的な景気回復による好循環を生み出していけるものと信じています。

2. 2015年の抱負

今年の干支は、「乙羊（きのとひつじ）」です。「乙（きのと）」には、「飛躍の前の準備」という意味があります。2015年は、中期経営計画「Next Challenge 2017」ステージ1の締めくくりの年であり、2017年に向けた飛躍のための準備期間でもあります。

当社は、中期経営計画の柱となる「機能別再編」を昨年から本格スタートさせ、マリン・航空分野、モーターチャネル、第三分野、海外事業など、各種再編を着実に進めてきました。グループ各社の強みを生かした新規開拓やシェアアップといった成長に繋がる成果も現れてきています。

いよいよ今年は、地域再編が本格的に始まります。当社の未来を語るうえで、機能別再編の成功は欠かすことのできない重要な要素です。機能別再編をしっかりとやり遂げ、さらなる飛躍を目指しましょう。

3. 結びに

当社とMS&ADインシュアランス グループのさらなる飛躍に欠かせないものが、もう一つあります。それは社員の皆さん一人ひとりの成長です。新年を迎えて気持ちを新たに、それぞれが「真のプロフェッショナル」の姿を思い描いてください。

例えば、製薬業界を担当するある営業社員は、臨床研究・治験の補償という専門分野を極める努力を続け、医療関係の専門家を集めたセミナーを開催するまでにステップアップしました。皆さんもプロフェッショナルを目指して、「部支店の中で一番になる」「当社で右に出る者はいない」「保険業界でナンバー1になる」という強い意欲を持ち続けてください。皆さん一人ひとりがさまざまな領域で活躍し、個性溢れるプロフェッショナルが増えていくことが、最強の職場を作るための鍵となります。

そして、「自らの成長が組織にどう貢献できるのか」を考えてください。経営学者のドラッカーは「果たすべき貢献を考えることによって個人も組織も成長する」と紹介しています。「組織にとって最も重要な貢献は何か」を自問することで、自らがどんな能力を磨くべきなのかが見えてくるはずです。また、「貢献」を考えることで、周囲への意識が高まり、強いチームワークも生まれてきます。その先に、当社の目指す「世界トップ水準の保険・金融グループの実現」があると、私は確信しています。

最後に、皆さんとご家族のご繁栄とご健康を祈念して、私の新年のメッセージとします。

以 上